

那賀川水系大規模氾濫減災協議会

平成30年7月 取組状況

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑥効果的な水防災意識社会再構築に役立つ広報や資料を作成 パンフレット・イベント・w e b等を活用
した水災害広報の充実

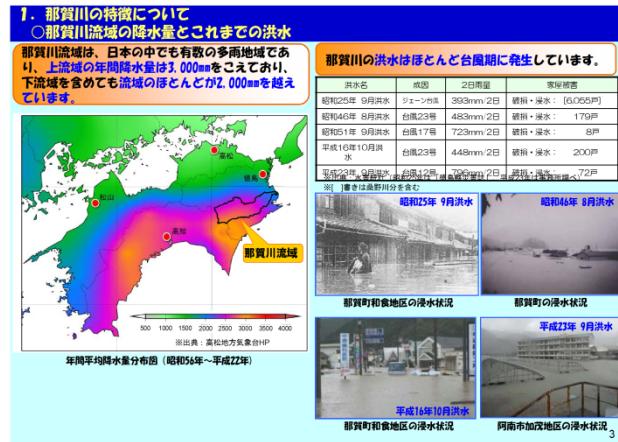
【四国地整】

那賀川河川事務所は、阿南の夏祭りの7月20日・21日に、徳島県県土整備部河川整備課・流域水管理課・那賀川農地防災事務所と共に「水の週間in那賀川」としてブースを出店しました。

展示スペースには、過去の台風被害をパネル展示して来場者に洪水の恐さを理解してもらうことができました。

また、気候変動の現状や年平均降水量の変化傾向等のパネルも展示し、洪水のリスクが高まっていることを理解してもらうこともできました。

今後もイベント等の活動を通じて那賀川への関心を地域の皆様に持つていただき、合わせて平常時から洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を行っていけたらと思います。



2. 気候変動の現状と住民意識について

○年平均降水量の変化傾向

那賀川流域の皆さん約4割は、那賀川流域の一年間の降水量は多いと少ない年の差が大きくなっていると感じています。実際、降水量は多いと少ない年の差が大きくなる傾向にあり、大雨による洪水や少雨による渇水が発生しやすくなっています。

那賀川流域住民意識

質問: 那賀川流域の一年間の降水量はどう変化していると思いますか?

※事務所調べ (平成24年10月～11月、対象者数: 320名)

日本における年平均降水量の経年変化 明治31(1898)～平成23(2011)年

※出典: 気候変動監視レポート(1991～2009年)

那賀川流域における年平均降水量の経年変化 (昭和38(1963)～平成23(2011)年)

※事務所調べ

